

地域貢献活動を目的とした英語教育教材研究

—「小学英語 スキル・アップ」公開講座及び湖南高校出張授業の報告—
林 正雄

English Teaching Material for Educational Contribution to Local Community
—Extramural Course of 'Primary School English' and BBC TV Program—
Masao HAYASHI

平成20年1月11日 受理

はじめに

本稿は平成19年度に行った地域貢献活動の内容報告である。静岡大学教育学部教育実践センター主催の公開講座と湖南高校出張授業の二種類の活動の報告内容をまとめることで、地域貢献活動を目的とした英語教育教材研究を深めることを目的としている。

1. 公開講座

『小学校英語活動 スキル・アップ講座』

公開講座 平成19年8月20日開講

矢野淳先生（午前10時～12時）の後を受けて午後の部（13時—16時）を林が担当した。

- ・場所： 情報センター実習室6
- ・参加者数10名。

1-1. 公開講座の内容の展開を次に示す。

（準備段階で利用することを想定したが、時間関係で実際に利用できなかったものもある）

1-2. 先生方の小学英語の授業の具体例

- ・事前アンケートへの御回答
「小学英語で採用したおられる具体的な教材、授業方法について」

1-2-1. 富士宮市立 富士根南小学校 川口 佳子 先生のご回答

アンケートにお答えします。

- A. ①絵本
②大きな英語の絵本をCDの英語を聞かせたり、繰り返し言わせたりして使

用している。

- B. ①カード類
②さまざまなカードゲームに使用。例えば、カルタ、坊主めくり、ドミノ、伝言ゲーム、等。
- C. ①CD
②英語の歌を歌うときに使用。
- D. ①ボードゲーム
②さいころと駒を使い、英語の会話の練習をする。

1-2-2. 清水第四中学校 古市 淳子 先生のご回答

中学校の教員であるため、仮定の話です。

- ① 英語の歌（ビートルズ、体の部分を覚える歌、一週間の歌、など簡単なもの）
ディズニー映画 OR ディズニー英語
単語しりとりゲーム
オールイングリッシュで簡単なゲーム
- ② どれも音声中心でやっていく。
ただし、アルファベット、ローマ字など基本的なことは書かせるようにしたい。

1-3. 教材紹介

以下の内容は「どのような小学英語の教材があるか」との事前アンケートの回答に書かれていたご質問に答える形で準備したものである。これは将来小学校教員を志望する学生を対象に、大学ではどのような授業を構成すべきかを考えた結果生み出されたものであるが、小学教育現場の先生方の御講評を得ながら修正し、学部授業に反映させることを目的とした。

1-3-1. 小学英語用テキスト

・「みんなあつまれ！小学生のえいごタイム」CDブック。（アルク社刊）

（イ）小学校低学年（1-3年）と（ロ）高学年（4-6年）の二冊から成るCDブック。

（イ）では英単語に慣れることを、簡単な歌を憶えることが活動の目的とされており、その具体的な活動例が26種類紹介されている。

（ロ）では、月の名前の由来や十二支の英語名など文化史的な内容も盛り込んでいるが分かりやすく憶えやすいように工夫されている。26種類の活動例が紹介されている。示唆に富む指導書であり、この活動例をもとに自分なりの教案を作り上げることができる。

1-3-2. ピーター・ラビット関係

① Camilla Hallinan, ed. *The Ultimate Peter Rabbit*. New York: DK Publishing, 2006.

タイトル通りピーター・ラビットの作品と作家、地理的・社会的背景を網羅して分かりやすく解説している大型本（260×310）。豊富な挿絵と写真が楽しい。原文を短く引用しながら、主要作品のあらすじをまとめている。

② Peter Rabbit のDVD（「ピーター・ラビットとなかまたち」、ナレーション 壇ふみ、原作 ビアトリクス・ポター、企画・制作・発売元 ポニーキャニオン フジテレビ）

③ アルク社のCD絵本、

『オリジナルで読むピーター・ラビット』のシリーズは

“The Tale of Peter Rabbit,”

“The Tale of Benjamin Bunny,”

“The Tale of Jemima Puddle-Duck,”

“The Tale of Tom Kitten,”

“The Tale of The Flopsy Bunnies,”

“The Tale of Squirrel Nutkin” の6冊からなる。8センチの音声CDは発音が明瞭で、音声教材として利用価値が高い。児童用に厚いハード・カバーで製本されており、160×115ミリの小型サイズは、小学生の掌にも抵抗なく受け入れられる。他に

“Snow White,”

“Beauty and the Beast,”

“Cinderella” なども含まれており、ディズニー・アニメのDVD作品とタイアップして利用することができる。

高度な内容的のものもあるが、幼児期から繰り返し聴いておくことで英語音声に慣れることができる。ページごとにリピートできるように教授者がMD録音しておくことが望ましい。市販の視聴覚教材をそのまま使用するのではなく、学習者のレベルに見合った教材に作り直す作業が授業内容の密度を高めるものである。

④ インターネットからの教材紹介

・オハイオ大学キッズ・コーナー
（<http://wiredforbooks.org/kids.htm>）

日々成長し続ける児童英語教育のこのweb siteでは、現時点で次の作品を日・英二ヶ国語とその二言語音声で提供している。

Beatrix Potter's Stories - Text & Pictures
in English and Japanese

The Tale of Peter Rabbit

Cecily Parsely's Nursery Rhymes

The Story of Miss Moppet

The Tale of Johnny Town-mouse

The Tale of Mr. Jeremy Fisher

The Tale of the Pie and the Patty-Pan

The Tale of Squirrel Nutkin

The Tale of Timmy Tiptoes

The Tale of Two Bad

⑤ その他の教材

・ Beatrix Potter の生涯を描いたNHK番組の録画鑑賞

・ Beatrix Potter's Peter Rabbit: A Lift-the-Flap Rebus Book (F. Warne & Co.)

Flap の絵を捲りあげると単語が書いてある仕掛け絵本。単純な英絵辞典よりも力学的要素を含み楽しく学ぶことができる。

Once upon a time there were four little ウサギの絵 and their names were ….

- ・ 湖水地方のビデオ
- ・ 自然 English Breakfast
- ・ 遠山茂樹、『森と庭園の英国史』、文春新書。英国庭園の歴史を幅広く論じた本であるが、第3章「森とウサギのいる風景」ではピーター・ラビットの森について詳しく論じている。フォレストとウッドの違いや、野兎と穴ウサギの違いは小・中学生の教材内容として使える。

1-3-3. ディズニー関係

① Disney's Treasure of Children's Classics

この本は次の三種類に分類された合計17本のディズニー作品の物語のプロットを説明している。

- ・ Fairy Tales (Cinderella, Snow white and the Seven Dwarfs, Sleeping Beauty)
- ・ Classics (Pinocchio, Robin Hood, The Laughin' Place and the Wonderful Tar-Baby, Ichabod Crane, Peter Pan, Alice in Wonderland, Bambi, Winnie the Pooh and the Honey Tree, The Jungle Book)
- ・ Contemporary Stories (Dumbo, 101 Dalmatians, Lady and the Tramp, The Aristocrats, The Rescuers)

オリジナルの作品とは違うが、ディズニーのDVDなどと関連させながら読んで行ける。

映像では表現しきれない部分を美しい挿絵入りの英文で解説されている。原作を翻案して、ディズニーのオリジナルな作品が作られている。英文が平明で、英語教育の教材として価値が高い。

③ ディズニー英絵辞典

次の4冊から成る楽しい挿絵のついた英絵辞典。

1. Words that Tell You About things
語彙力を養成するために質問に答える形で、さまざまな形容詞が紹介される。絵の脇に単語が書かれているので、絵を見て単語の意味を推量できる。

・ What Kind of Voice Do You Have?

Confident, cross, husky, moving, pompous, hoarse, shy, hypnotic, gentle, proud

・ What Does It smell Like?

Flowery smell, dusty smell, musty smell, woolly smell, fusty smell,

2. Words that Name Things

ある言葉を中心において、その関連語を収集している。

・ School

Text book, waste basket, eraser, thumb tacks, ruler, scissors, paint bushes, pencil sharpener, microscope

Naughty pupil standing on stool, pupil giving an excuse,

・ Supermarket

Cashier, cart, shopper, bread, mustard, detergent, jam, coffee,

Store manager, shopping basket, cash register,

逆にスーパー・マーケットにあるものを思い浮かばせながら日本語で言わせる。それを英語にする。

3. Words that do things

ディズニーのキャラクターを登場させて動詞の類義語を示している。

・ Shine

Moon shining, stars twinkling,
glasses glittering, blue bow shimmering,
diamond ring glittering, shoe gleaming,
camera flashing, headlights beaming,
sidelights glimmering

・ Touch

Hugging a friend, caressing a little
animal, embracing a friend, nestling
cosily,

Snuggling up together, cuddling a
doll, stroking a pet

4. Words that are opposites

形容詞と副詞の反意語を対照的に表示
している。

・ Noisy-Quiet

Noisy fireworks - a quiet day,

③ イーオン子供英会話 :
<http://www.aeonet.co.jp/kids/index.html>

④ ピーター・ミルワード. 『童話の国イギリス』. 中公新書. 第四章には、母親から何度も読み聞かせられているうちに、挿絵を見るとそこの書かれている物語を間違いなく音読する<字の読めない>弟の思い出が語られている。物語を一字一句間違いなく音で覚えてしまうことが言語習得に必要なのである。読み聞かせの大切さが、さりげなく語られる。

1-3-4. その他の参考資料

① 英語発音入門 をキーワードにしてサーチする。

幼児期の発音教育は重要なので、しっかりした使いやすい発音教科書を手元に置いて、

口の構えを常にチェックしたり、発音の要点を自分なりにまとめながら、正確な発音に心掛けたい。

・小川貴宏、” Sound Right: 1 4 のグループで覚える英語の発音,” The Japan Times,

2002.

・杉山健太郎、『英語発音・聴き取りの基礎』、朝日出版社、2005.

② シンデレラ日・英スクリプト

『シンデレラ』、『ピノキオ』、『リトル・マーメイド』などの英文スクリプトはインターネットで入手可能である。これを利用して教員は小学生向きに利用できる表現を選び重点的に英語指導することができる。小・中学生を対象とする場合、日本語でプロット展開を聞き取ることも必要である。DVD教材の長所のひとつは学習者のレベルを考慮に入れて、日・英語の使い分けが可能である点に求められる。

③ 三省堂マルチメディア対訳版
(<http://www.bauddha.net/sanseido.html>)

「児童書・童話」として現在次の作品が対訳形式でアップロードされている。

はだかの王さま (アンデルセン)

マッチ売りの少女 (アンデルセン)

不思議の国のアリス (ルイス, キャロル)

鏡の国のアリス (ルイス, キャロル)

<ジョン・テニエルの挿絵付>

白雪姫 (グリム童話)

三匹の子ぶた (ジョウジフ・ジェーコブス)

わがままな大男 (オスカー・ワイルド)

幸福の王子 (オスカー・ワイルド)

1-4. 小学英語教材についての授業の受講者のレポート・感想紹介

将来小学教諭を目指す学生が受講する学部の授業の「リーディング・スキル研究II」, 「リーディング・スキル研究III」および大学院生対象の「英米文学特殊講義」のなかに、ディズニーのDVDや絵本、ピーター・ラビット関係の視聴覚教材を盛り込んだ。そのような授業のあとで、感想を書いていただいた。その具体例を2, 3編紹介したい。

1-4-1. Disney 絵本を使った幼児英語の授業について

リーディング・スキル研究IIIレポート
 発達教育学専攻・教育相談学専修 中野 歩
 今では、幼稚園でさえ英語を勉強するところもあると聞いたが、小学校でも徐々に英語が教科の一つとして導入されている。以前、先生の授業で教材用のDisney DVDを観させていただいたけれど、あのDVDは小学生対象に利用したらとても有効的だと思う。まず、子どもたちの大好きな「Disney」というだけで、興味を引くことができる。普通に教科書などを使って授業をするだけでは、なかなか子どもたちもとっつきにくいと思う。しかし、馴染みのあるキャラクターが出てくるDisney DVDでは、英語が苦手だと感じている子どもにも楽しく学ぶことができるのではないかと思う。また、動画であるので、少しわからない英語が出てきたとしても絵から推測したり、理解したりすることが可能になる。さらに、このDVDを観るだけで、正しい発音練習もできる。こういったさまざまな点で、小学校の英語教材に使用したら、子どもたちも楽しく、関心を持って英語を学ぶことができると思う。もし私が教師だったらぜひ使用したいと思う。

別の授業の中で、ある先生が「となりのトトロ」を教材として取り入れていたのを見たのですが、やはり、子どもたちの好きなDisneyやジブリ、その他のアニメなどを一つの英語教材として使用することができたら、それは子どもたちにとってすごく嬉しく、楽しいことだと思う。わたしが小学校・中学校の時は、授業ではビデオやDVDを見たりすることがほとんどなかったため、大好きなDisneyやジブリやアニメのDVDを授業で観ることができたらすごく嬉しいし、英語が好きになると思う。英語が上達するには、英語が好きでなければ難しいことだと思うので、小学校などで学習する英語の授業では、まず、

子どもたちに英語を好きになってもらえるような工夫をすることが大切だと私は思う。だから、ぜひこのようなDVDなどを活用してほしい。私自身も、小学生や中学生の頃にこのような授業を受けてみたかったと思う。

1-4-2. 現職教員（県派遣1学生）からの提言

紙幅の関係でその一部しか記載できないことは誠に残念であり、申し訳ないことであるが、県派遣学生として出席しておられる現職の先生方から具体的で貴重なご提言をいただいた。小学英語及び中学英語の実践的研究には、現職教員の御提言は貴重で有難い。

① 鈴木美紀先生（湖西市立鷺津中学校）

「小学校英語・中学校英語におけるディズニー教材の活用法について」

小学校英語における「白雪姫」の活用法

1 読み聞かせ（絵本、紙芝居）

子どもたちは、「白雪姫」内容をすでに知っていて、展開もわかるのだが、白雪姫で使われている英文はたいへん難しいため、やさしい英語、そして単純な構文に直して、紹介されるべきだと思う。

音声の面でアプローチすることが適している小学校英語において、聞いていても聞き取れない、わからない場合、子どもたちの集中力はすぐに切れてしまうので、ここで工夫が必要となる。読み聞かせの前に、子どもたちに「白雪姫」に登場する人物、もの等に何かがあるのか聞き、できれば英語で答えさせ、わからないものは、日本語で答えてよいものとする。それらを、黒板に人物の絵（白雪姫、妃、魔女、こびと、王子など）、ものの絵（鏡、こびとの家、りんご）、を貼りながら、教師が英語できちんと教え、リピートさせる。この活動によって、読み聞かせに入ったときの子どもたちの理解力は増し、少しでもわかるといった満足感を持たせることができる。教師は、絵を見せながら指で指しながら進めることが重要で、可能ならばBGMを流せると

よい。また、お妃が鏡に向かって尋ねる定番のシーンでは、一度目はそのまま聞かせても、二度目は、子どもたちにリピートさせるのも、こどもたちが参加できる読み聞かせ教材として良い手段と考えられる。

2. ペープサート、パネルシアター

視覚的効果をねらい、ペープサートやパネルシアターを活用すると、子どもたちはひきつけられる。準備がたいへんであるが、それらを動かす際には、英語をCDで流すとよい。

3. 歌

「白雪姫」で、有名な歌はこびとの登場シーン、こびとが働くシーンの「Hi-ho」である。かんたんな英文で、しかも繰り返すフレーズ、調和をとる最初の出だしは楽しいため、小学生は喜んで歌うと思われる。

4. 寸劇

小学生は体を使って活動することが好きである。教師が英文をやさしく、単語をできる限り発音しやすいものに置き換えて、台本をつくとよい。全員参加を前提とし、場面をいくつかに分けて、グループで一つの場面を選び、演じる。

② 高塚由佳利先生(掛川市立桜が丘中学校)

「Disney作品を授業に取り入れるには」

1. 授業での活用方法

(1)小学校低学年

「キャラクターを用いて、動物に関係する単語を学ぶ」

ディズニーのキャラクターは、ほとんどが動物である。キャラクター名に「ミッキーマウス」のように、カタカナで英語が入っている名前もある。キャラクターの絵と、実際の動物の絵を用いて、「Mickey is a mouse.」

「Donald is a duck.」などといいながら生徒にリピートさせる。ALTと発音練習や、問答などで練習したあと、ゲームを行う。キャラクターの絵と、動物の絵をあわせる『絵合わせゲーム』をおこなう。ペアで行い、2枚の絵

を捲ったら、「Mickey is a mouse. Right?」といい、ペアのもうひとりには、合っていれば「Yes, that's right.」と答えながら、ゲームを進めていく。

(2)小学校中学年

「Snow White」の紙芝居を聞こう。

& 「Hi-ho!」を歌おう!

「Snow White」の紙芝居を聞かせる。導入として、登場人物を紹介する。『白雪姫』が「Snow White」であることなど。また、小人たちの名前はそれぞれの特徴をあらわす名前であるので、絵や動作などで表しながら紹介する。ALTとJETがそれぞれの役柄に扮して読み聞かせれば、興味を持って聞ける。そして、劇中歌である、「Hi-Ho」を紹介し、シャベルで穴を掘る動作などをつけて全員でいっしょに歌う。

(3)小学校高学年

「低学年の人たちに「Snow White」の英語劇を演じて見せよう。」

(2)で行った紙芝居の読み聞かせを行う。全体を7つのグループに分け、紙芝居の場面ごとに、1グループ1場面を担当する。教師の模範演技を参考にしながら、自分たちのアイデアも交えて劇を演じる。文字による導入では読めないかもしれないので、教師で行うデモンストレーションをあらかじめビデオに録画しておき、それを繰り返し見ながら練習を進めていく。第1時は、グループと担当を決め、練習に入るところまで。第2時は内容を工夫しながら練習する。第3時は、お互いのグループの演技を見合ったあと、ストーリー全体を通す練習。第4時は、リハーサル。そして、「Hi-Ho!」を歌う練習。第5時は、下級生に劇を披露する。

○ 注意点：①グループ分けをする際、場面によっては人数が少ない場面、多い場面が考えられるので、あらかじめクラスをそれぞれの場面で分けてちょうどよいように調整する必要がある。また、台詞もやさしくわか

りやすいものに変えておく。

②小道具を作るのは教師がやってもよいし、生徒の希望があれば作る時間を確保することも必要であると思う。

1-5. 静岡大学「小学校英語活動 スキル・アップ講座」アンケート

1. 教材の提示方法 富士根南小学校 川口 佳子 先生

ディズニーのマジックイングリッシュは、動物の勉強をしたいときに、まず見せて楽しませる。どんな動物がでてきたか日本語で聞く。もう一度早送りをしながら確かめる。確かめながら英語で発音練習をする。

ピーター・ラビットは、英語を学ぶ前に、イギリスについて地図などで学ぶ。イギリスの湖水地方の美しい自然やナショナルトラストの活動、ビアトリクス・ポターを紹介する。

2. 教材についての感想

映像はよい教材になると思います。特にディズニーの方は、キャラクターを知っていたり、1文が短かったりしたので、小学生にはわかりやすそうです。動物もラムとシープなど、親と子の名前の違いなどわかっておもしろいと思いました。

3. 講座についての感想

午前中は具体的実践例を紹介していただき、午後はインターネットを使って、便利なホームページなど、教えていただき、参考になりました。

4. 翌年に向けての改善点

参加者の意見交換の場があるといいなと思いました。

5. 小学校にどのような形で英語が導入されるのか最新情報や予想を教えていただきたいです。

2. 湖南高校出張授業

この活動の趣旨は、高校生を対象に大学の講義を分かりやすく提示することにより、大学教育への関心を生み出し、将来の専門分野を考える動機付けとすることと自分なりに想定して引き受けた。この出張授業で使用した教材は、BBC番組「脳 未知のフロンティア：限りない創造性」-音楽サヴァン少年マット・サヴィッジの場合-である。この番組の英文を聞き取り、日・英スクリプトを準備した。これは著者のWebsite(「英詩の楽しみ」<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~eknhaya/>)で見ることが可能である。テキストで意味をとり、その英語音声聞いてゆくという方法で、静岡大学の学部の授業で使用したものである。人間の脳が持つ驚異的な機能を描くこの番組は学生の強い関心呼んだ。

2-1. 報告書

所属学部：教育学部

氏名：林 正雄

実施日時：平成19年 12 月12 日(水)
13 : 30 ~ 14 : 30

参加生徒数等：2年 10名、教諭 1名

実施高校名：静岡県立湖南高等学校

(担当教諭 辻村 得吉教諭・杉山之乃 教諭)

授業名：BBC番組「脳 未知のフロンティア：限りない創造性」の教材化 -音楽サヴァン少年マット・サヴィッジの場合-

授業概要等：音楽サヴァン少年マット・サヴィッジを扱ったBBC番組を見て、その英語スクリプトを読みながら音声英語に慣れることを目標に置いた。サヴァン症の人々の驚くべき能力について紹介した。スクリプトに含まれるDiagnoseなどの単語を例に挙げて単語の語源的背景を説明して通時的な視点を紹介した。また、diagnose (診断) - prescribe (処方する) - treat (治療する) など共時的な単語の展開法を紹介した。この教

材を掲載しているweb siteを紹介し、これまで出版してきた論文の中から、『トムは真夜中の庭で』のあらすじを説明した。

生徒の反応：予習用に配布を依頼しておいた資料を生徒が読んできていたので、説明しやすかった。サヴァン症候群についてほとんどの生徒が知らなかったのも、絵画サヴァンであるスティーブン・ウィルトシャーの描いたローマ市街のパノラマ画が映された時には、その正確な画法に驚いた様子であった。高校からの希望事項：大学教員による大学の授業の分かりやすい紹介は、学生の進学先の選択や、知的関心を深める上で有効であり、この企画を続けてほしい旨のご要望をいただいた。

実施後の意見、感想等：学生の主体的な授業参加を期待して、英文の文法事項や単語の意味を説明した後で、文意を捉えていただいた。生徒の熱心な態度が感じられて授業に熱が入った。高校生を相手にする授業を経験すると、わかりやすい授業にするために工夫を凝らそうとする。大学での授業もわかりやすいかどうかを考え、学生の様子を点検しながら授業するようになる。高校と大学間の交流は教育法的見地からも相互により影響を与え合う点が少なくないと感じた。

2-2. 受講者の感想

○ 授業中にはそのような用意がしてあることには気づかなかったが、後日高校生からかなり詳しい講義内容のまとめと授業の感想が届いた。そのうちの数例を取り上げて、今後の出張授業の指針としたい。英語にこだわらずに、内容重視で日本語で番組を見たことが、新鮮に思えたようであった。以下に受講者と授業担当者の感想を書き留める。

2-2-1. 感想①：

ビデオを見ながらの講義だったので、とてもわかりやすかったです。ビデオを見てサヴァン

はすごいと思いました。脳に障害があっても特定の分野でずば抜けた才能を持っていることを知り、何か一つでも才能があることは素晴らしいと思いました。脳は本当に不思議なものだと思います。このビデオを、日本語と英語の同時音声で見たけれど、映像や音があったので、わかりやすかったです。英語だけだったらまったくわかりませんでした。大学の授業は工夫されていてすごいと思いました。

担当者：内容の面白さを引き出すためには、学習者のレベルに応じて、日本語音声を利用することをためらわないほうが良い。むしろ導入すべき英語表現を明確にしてターゲットを絞ることが教育効果を上げる。あるいは日本語放送で内容理解を深めてから、英文スクリプトを楽しく読んでゆくことができる。

授業担当者の感想：映像を取り入れた授業では、難解な内容でも理解を深めることが可能である。特にその内容が驚きや感動を伝えるのであるならば、その内容を表現する英語への関心も深まる。映像・音声資料と組み合わせられたテキストの利用の仕方が、大学での英語教育を特徴づける要因となるものと考えられる。

2-2-2. 感想②：

外国の番組をあまり見たことがなかったので、興味を持つことができました。なかなか英語を聞き取ることはできませんでしたが、流れるような英語をどう訳すのか、一つの単語から、語源である単語や関係してくる単語など、単語の成り立ちについてとても興味深くなりました。今後、高校の英文でもそのように一つの事から広がっていったら良いと思います。

大学の講義ってどのようなことをしているのか、自分についてゆけるのか不安でしたが、自分が興味を持っている事柄であるのな

ら、今回のように講義も良いものだと思います。

授業担当者の感想: 英文スクリプトの中に、
‘diagnosis’があったので、その語源を簡単に説明した。Diagnosis<dia+gnosis<dia+(G) gignosko. 英語に置き換えると
through+know (COD, ODEE)の意である。こうした背景を持つ言葉である。

(Gnosis : immediate knowledge of spiritual truth; esp: such knowledge as professed by the ancient Gnostics and held to be attainable through faith alone.) (WNID) または ‘to know thoroughly’ (Klein’s Comprehensive Etymological Dictionary of the English Language)

Gnosis は「知る」の意であるが、グノー

シス派の哲学者はこれを、深い信仰によってのみ得られる「霊的な叡智」と考えた。なおこのグノーシス派の人々は、なぜこの世に悪がはびこるのかを疑問視して、その創造主が地上界の造物者デミウルゴスであったとし、アイオン界の最高神と区別した。

Cf. Demiurge<demos+erg=public+work>
handicraftsman, artisan.

(Cf. <http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~ekmhaya/17Da%20Vinci.pdf>)

語彙力を増やす方法としては上記のような歴史的な展開と同時に、連想による共時的展開法がある。Diagnosis(診断)が出てきたならprescription(処方)、treatment(治療)などの関連語を自分で連想して和英辞典で調べると言葉が定着する。

あとがき

本稿では公開講座と湖南高校の出張授業について報告した。

小・中学校の先生方と共にひと時を過ごすことができた公開講座では、もっと先生方の経験を語っていただいて、意見交換の中からより良い授業方法を引き出してゆく形にすべきであったと考えている。小・中学生と直接接する機会が十分に持てない大学教員にとってそのような意見交換からは、小学英語について考察を深めるための、貴重なヒントを得ることができる。

これを機会に大学の授業で、卒業生が赴任先の小・中学校で利用できる教材を扱う必要を感じた。1, 2年生対象のリーディング・スキル研究では、ディズニー・アニメのDVDのスクリプトを取り上げた。今日では『不思議の国のアリス』、『リトル・マーメイド』、『ピノキオ』など多くのDVDの日・英スクリプトがインターネットからダウンロードできる。映画のスクリプトはほとんどが会話からなっており、利用の仕方次第で、気の利いた、精彩を放つ会話表現を身につけることができる。このスクリプト利用方法の研究はこれから教員養成大学生にとって楽しくかつ利用価値の高い研究テーマになると思えた。

湖南高校の出張授業では、自ら聞き取ったBBC放送の英文スクリプトをリーディング・テキストとして用いた。リスニングにエラーがあってはならないと思い、本学部のピーター・クレメンツ先生にチェックを入れていただいた。お忙しい時に、快く英文チェックを引き受けていただいたクレメンツ先生に感謝する次第である。高校生とご一緒に授業に参加して下さった杉山之乃先生からは丁寧なご感想をいただき勇気づけられた。次の出張授業改善のための参考資料にしたい。辻村得吉先生には事前の教材のプリントと配布などの準備作業を快く引き受けていただいた。八大学から合計15名の授業担当者による出張授業の調整に当たられておられるお姿が目には焼き付いている。後日届けられた高校生の講義内容のまとめと感想を読みながら、この出張授業に取り組む湖南高校の熱意が伝わってきた。高校生の端正な字体で授業内容と感想が克明にまとめられており、礼儀正しさが嬉しく感じられました。

参考文献

- ・安藤聡、『ファンタジーと歴史的危機—英国児童軍学の黄金時代—』、彩流社、2003.
- ・遠山茂樹、『森と庭園の英国史』、文春新書、文芸春秋社、2002.
- ・小川貴宏、“Sound Right: 14のグループで覚える英語の発音,” The Japan Times, 2002.
- ・小泉清裕、「みんなあつまれ!小学生のえいごタイム」小学校4-6年編、アルク社、2002.
- ・佐藤令子、「みんなあつまれ!小学生のえいごタイム」小学校1-3年編、アルク社、2002.
- ・河合隼雄、『子どもの本を読む』、楡出版、1994.
- ・杉山健太郎、『英語発音・聴き取りの基礎』、朝日出版社、2005.
- ・日本イギリス児童文学会編、『英米児童文学ガイド』、研究社、2001.
- ・フレッド・イングリシ、『幸福の約束』、中村ちよ、北條文緒 訳、紀伊国屋書店、1990.
- ・スクリーンプレイ編集部、『映画英語教育のすすめ』、スクリーンプレイ出版、1995.
- ・ピーター・ミルワード、『童話の国イギリス』、中公新書1610. 中央公論社新社.

- ・Beatrix Potter, “Beatrix Potter’s Peter Rabbit: A Lift-the-Flap Rebus Book,” F. Warne & Co.
- ・Camilla Hallinan, (ed). *The Ultimate Peter Rabbit: A Visual Guide to the World of Beatrix Potter*. New York: DK Publishing. 2006.
- ・Donovan, Margaret, “Walt Disney’s Treasury of Children’s Classics,” Harry N. Abrams, Inc., New York, 1978.
- ・The Walt Disney Company, “Walt Disney’s Story Land: 55 Favorite Stories,” Western Publishing Company, Inc. 1962.
- ・The Walt Disney Company, “Walt Disney’s World of Fantasy,” Gallery Books: W. H. Smith Publishers Inc., 1987.
- ・The Walt Disney Company, “The Little Mermaid,” Disney Classic Series, Twin Books.
- ・Warne, Frederick (ed.), “The Complete Tales of Beatrix Potter,” Frederick Warne & Co., 1930.